

第42回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：令和6年7月24日（水） 14：00～15：00

場 所：高知県公立大学法人永国寺キャンパス教育研究棟3階A311（役員会議室）

参加者：評価委員：森下勝彦委員長、中平雅彦委員、寺田覚委員、江口忠臣委員、
菱沼典子委員（オンライン参加）

高 知 県：大窪私学・大学支援課長、上田課長補佐、ウォルシュチーフ、先田主査
高知県公立大学法人

（法人本部）：福田副本部長、久保総務部長、小林財務部長、山下財務課長、
中平財務課企画監、久保総務企画課長

（高知県立大学）：五百藏副学長、井上事務局長、溝渕事務局次長、宮脇総務部長、
村岡財務課長、荻総務課長

（高知工科大学）：蝶野学長、上田学長特別補佐、大野事務局長、川崎事務局次長、
福留事務局次長、竹田総務部長、井村財務課長

委員長	令和5年度高知県公立大学法人の取り組み報告について、高知県立
高知県立大学	大学から説明をお願いします。
委員長	・・・説明・・・
高知工科大学	続いて、令和5年度高知県公立大学法人の取り組み報告について、高
委員長	知工科大学から説明をお願いします。
法人本部	・・・説明・・・
私学・大学支	続いて、令和5年度高知県公立大学法人の取り組み報告について、高
援課長	知県公立大学法人から説明をお願いします。
委員長	・・・説明・・・
私学・大学支	冒頭説明させていただいたように、昨年度、年度計画と年度評価が廃
援課長	止となった。それに伴い、評価委員会の方で評価をする必要があるのは、
	6年間の中期目標の期間内の2回、2年に限る形になった。その時にだ
	け評価いただけたらいいのかというような議論もあったが、評価以外の
	年にも、評価委員の先生方には、大学の取り組み状況をしっかり確認し
	ていただき、どういうふうに取り組んでいるのかというところを見てお
	いていただいた方が、2回の評価のときにも、しっかりと評価いただ
	けるのではないかという趣旨で、この場を設定させていただいた。意見交
	換の場として、どんなことでも構わないのでざっくばらんな意見交換を
	ぜひお願いしたい。
委員長	次の決算の概要の説明の後、全体を通して質問の時間をとることとす

る。

では次に、高知県公立大学法人令和5年度決算の概要について、法人本部から説明をお願いします。

法人本部

・・・説明・・・

委員長

全体を通して質問があればお願いします。

委員長

私の方から、2点。それぞれKPIがあり、基本的な目標値に達していない項目については、PDCAを回すということで、対応策がもう検討されてるという解釈でいいのかということと、もう1点、県内就職率も目標を下回っているが、卒業生が県内に就職しない大きな理由というのはどういうものであるのか教えていただきたい。

高知県立大学

県内就職について、学生の出身地の割合を見たときに、約6割が県外という状況。特に、池3学部に関しては、国家資格、看護職や栄養士等、そういう専門職を目指している学生が多いという傾向があり、地元に戻る傾向が強い。

高知工科大学

KPIが目的に達しなかったということについて、分析等はしている。原因がわかれば、すぐに改善に至るかどうかはわからないが、今後について、学内で教職員間で議論している。

県内就職について、県立大と似ているが本学は特に県外出身者が多い。県内に就職しなさいというアカハラになってしまうので、12月頃に県内外の企業を大学に招く際に、県内の企業を優先する等、様々な形で努力はしているが、やはり出身地や東京、大阪の方に就職する学生が多い。特に本学の場合は工学系が多く、その分野の県内企業の数が少ないということもある。最近の学生は先輩が就職したところに就職する学生が多いが、高知県の場合は、毎年1つの企業から何人も求人がもらえず、数年に1人で十分となると、継続性も難しいということ。もう1点は、県外の大きな企業になると、大学院生を優遇するところがあるが、高知県内では学部卒と院卒に差がないということも要因。

A委員

決算について。運用資金の一部を有価証券で運用していると理解している。「有価証券の評価基準及び評価方法」において、満期保有目的の債権はこういうふうに評価します、その他の有価証券についてはこういうふうに評価します、と記載がある。この満期保有については、高知県債4億円であるとわかるが、その他の有価証券というのはどういうものを指しているのか教えてもらいたい。

法人本部

持っている有価証券は、高知県債が、2億2億の2つ。このその他の有価証券というのは、あった場合という理解であって、実際はない。

A委員

外貨建ての金銭債権債務の為替の監査についての書類が出ているが、

	外貨建ての金銭債権債務というのは、どのような取引があるのか、教えてもらいたいということと、為替の差益と差損というのは、どの程度発生したのか教えてもらいたい。
法人本部	為替の債務決算差額は令和5年度は発生していない。
委員長	その他、質問があればお願いします。
B委員	法人の報告の中でハラスメント防止について力を入れてきたというご報告をいただいたが、両大学で実際にどれぐらいの件数があったのかを教えていただきたい。
高知工科大学	正確な数字は覚えてないが、相談があったのが、8件から10件ぐらい。調査をする必要があると判断したのが、2件ぐらい。 (後日数値を確認：相談は3件、うち調査を要するもの2件であった。)
高知県立大学	ハラスメントは人権委員会という委員会の中の委員の方に相談があり、相談があっても正式に取り上げてくださいというパターンと、学生の場合は正式にはではなくちょっと話だけ聞いてくださいというパターンが結構多いが、それでおよそ、5、6件くらいで、実際調査に入っているのは、昨年度は1件という状況。
委員長	懲戒処分の基準に達してないという理解でよいか。
法人本部	はい。
C委員	法人から説明のあった自己点検に関して、認証評価における本評価委員会の位置付けが、この地独法の改正に伴って変わっていくのか、認証評価で、自己点検・自己評価の体制がどのようになっているかということの説明の中で、本評価委員会の位置付けというのは、今後は別として考えているのか、それとも今までと一緒なのかその辺がもしわかればお伺いしたい。
私学・大学支援課長	認証評価の関係は、どちらかというと大学主体で行っており、わかっていないところもあるので、また大学、法人ともその辺りの話について相談することとしたい。
高知工科大学	地独法の改正の趣旨は、大学の評価疲れ等を考慮した簡素化の方向だと思う。本日は、自由なディスカッションの機会をいただき、感謝している。本日の結果を踏まえて次年度以降のあり方を検討してもらいたい。他の都道府県の状況はどうか。
私学・大学支援課長	他県も同じように評価に替わるものが開催されているような状況。
B委員	高知県立大学の方から10年戦略を立てられたという報告があったが、10年のプランというのはとても大事なことはないかと思う。そ

れが具体的にどのように進行されていくのかについて、今後のこの評価のときに報告いただければありがたい。

高知県立大学

我々も5年のところで1度、また先を定めていくというように考えているため、進捗状況については、順次、報告する。

委員長

他に質問がないようなので、本日の議事は終了させていただく。司会を事務局にお返しする。

事務局

令和7年度、8年度についても同様の形で、年1回報告の場を作るが、本日いただいた意見を踏まえ、来年度の開催に向けて検討改善をしていく。

----- (終 了) -----